

長野県廃棄物処理計画（第5期）の概要

資料 3 - 2

資源循環推進課



SDGs のゴール 12「つくる責任 つかう責任」は、持続可能な生産消費形態を確保することを目指しています。

第1章 総論

●計画の位置付け

- ①廃棄物処理法に基づく廃棄物処理計画
- ②食品ロス削減推進法に基づく食品ロス削減推進計画
- ③環境省通知に基づくごみ処理広域化・集約化計画

●計画期間

令和3年度から令和7年度

※ごみ処理広域化・集約化計画は令和3年度から令和12年度

●3つの重点方針

- ・4R（リデュース、リユース、リサイクル、リプレイス）の推進
- ・災害廃棄物や新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化などの課題に対しパートナーシップで解決
- ・2050 ゼロカーボンに向けた取組

第2章 廃棄物の現状と目標

●長野県の現状

《主な数値》（平成30年度）

区 分		H30
一 般 廃棄物	総排出量（千t）	622
	1人1日当たり排出量（g）	811
	リサイクル率（%）	20.6
	最終処分量（千t）	50
産 業 廃棄物	排出量（千t）	4,482
	最終処分量（千t）	81
	再生利用率（%）	33.7

●数値目標

《主な数値目標》（令和7年度）

区 分		R7
一 般 廃棄物	総排出量（千t）	583
	1人1日当たり排出量（g）	790
	リサイクル率（%）	20.0
	最終処分量（千t）	47
産 業 廃棄物	排出量（千t）	4,482
	最終処分量（千t）	81
	再生利用率（%）	34.4

第3章 各主体の協働と役割

●各主体の役割

県 民：日常生活の行動が大切、発生抑制等に努力、新たな生活様式、エシカル消費の実践

事業者等：自らの責任において適正処理、発生抑制・減量化等に努力、新たな生活様式の後押し

市町村等：一般廃棄物の区域内の発生抑制・適正処理の推進

県 ：産業廃棄物の状況の把握、県内の発生抑制・適正処理の推進

第4章 4R等の推進（4R：リデュース、リユース、リサイクル、リプレイス）

第1節 廃棄物の発生抑制（リデュース）の推進

- ・一般廃棄物の減量化については、市町村等と連携した事業者等への呼び掛け、食品ロス削減の取組を実施
- ・産業廃棄物の減量化については、排出事業者の自主的な発生抑制、環境マネジメントシステム、長野県産業廃棄物3R実践協定等の取組を実施

第3節 適正な再生利用（リサイクル）の推進

- ・各種リサイクル法の推進（例：容器包装、家電・小型家電製品等）
- ・ごみの分別収集の推進（信州プラスチックスマート運動「分別して回収」呼び掛け、市町村への先進事例の情報提供等）
- ・廃棄物のエネルギー利用（熱回収）の推進

第5節 環境教育等の推進

◆環境教育・環境学習等

- ・信州環境カレッジによる学びの提供
- ・キッズISOプログラムによる実践的な環境教育
- ・循環型社会形成推進功労者表彰

◆環境美化活動

- ・きれいな信州環境美化運動の推進

第2節 使用済み製品の再使用（リユース）の推進

- ・信州プラスチックスマート運動の推進
- ・各主体におけるリユースの推進（例：マイバッグ・マイボトルの普及啓発、詰め替え・補充製品の利用、ワンウェイ包装・製品の見直し、びん等リターナブル容器の使用等）

第4節 代替素材への転換（リプレイス）の推進

- ・信州プラスチックスマート運動の推進
- ・長野県版エシカル消費の実践等の呼び掛け
- ・産学官連携による研究開発・事業展開等の促進
- ・生分解性プラスチックやバイオマスプラスチック等の導入に取り組む事業者等の取組の後押し

第6節 食品ロス削減の推進

◆食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～

- ・家庭、外食等での食品ロス削減の呼び掛け（例：30・10運動、信州発もったいないキャンペーン等）
- ・食品ロス削減に取り組む店舗等の登録促進

◆未利用食品の提供の呼び掛け

- ・フードバンク活動、フードドライブの推進

第5章 廃棄物の適正処理の推進

第1節 廃棄物の適正処理の確保

- ・市町村との連携による無料回収業者等への立入検査、産業廃棄物管理票制度の周知、廃棄物条例による適正処理、特定有害産業廃棄物等の適正処理、一般廃棄物処理施設整備の支援等
- ・災害等緊急時の適正処理体制の確保

第2節 廃棄物の不法投棄等の防止

- ・不法投棄監視連絡員によるパトロール、夜間監視、ドローンによる監視、不法投棄ホットラインの設置等

第6章 循環型社会形成のための長期的取組

第1節 処理施設の整備

- ・長野県ごみ処理広域化・集約化計画（10ブロックでの処理体制）
- ・公共関与による施設整備（民間業者による処理体制、阿智村伍和地区の適正管理）

第2節 地域循環共生圏等の形成

第3節 2050 ゼロカーボンに向けた取組

- ・信州プラスチックスマート運動の推進
- ・4Rの推進、使用済太陽光発電設備の適正処理体制構築支援